



# チャイルドが暮らす地域のご紹介

World Vision

この子を救う。未来を救う。

ZAR-185919

チャイルド・スポンサーシップは、1人の子どもを対象にしたお金や物の提供ではありません。支援地域の人々が、子どもの健やかな成長のために必要な環境を整えていくことを支援するプログラムです。チャイルドが暮らす地域と、現地でワールド・ビジョンが実施している開発プログラムについてご紹介します。

## 国情報



## コンゴ民主共和国

1997年以前の旧国名はザイール。アフリカ大陸の中央に位置し、ウガンダ、タンザニア、ザンビアなど9カ国と国境を接し、西部は大西洋に接する広大な国です。旧ベルギーの植民地であったことから、現在でも公用語はフランス語。コバルト、金、ダイヤモンドなど豊富な地下資源を有していますが、長年の内戦や近隣国との紛争で国土は荒廃し、経済も危機的状態にあります。



## 地域情報

## カンボブ地域開発プログラム (ZAR-185919)

支援期間:2007年～2022年\*

\*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

コンゴ民主共和国の第2の都市ルブンバシから北西に150Km、車で2.5時間ほどのカタンガ市で、カンボブ地域開発プログラムを実施しています。カンボブ地域は、鉱山公社が建設した鉱山の町です。鉱山会社の経営破たんにより住民は失業し、人々は自前で発掘作業を続けるか、農業を始め作物を育てることで生計を立てています。センガ族が主流でキリスト教徒が多く、カトリック47%、プロテスタント51%となっています。公用語はフランス語ですが、キコンゴ語、チルバ語、リンガラ語、スワヒリ語などカンボブ地域ではさまざまな言語が使われています。



## 地域の課題



支援地域の小学校。机もイスもない教室で大勢の子どもたちが詰め込まれて勉強しています



支援地域の住居の様子



## 教育

- 生活する上で十分な読み書きの能力を持つ  
11～13歳の子どもの割合 **32.6%\***



## 保健衛生

- 0～5歳児の死亡率 1,000人あたり**9.8人\*\***
- 安全な水を得ることができる人の割合 **52.4%\*\***



## 農業・生計向上

- 耕す農地を持たない農民の割合 **34.9%\***
- 貯蓄を行っている世帯の割合 **13.4%\***

\*2014年時点

\*\*2015年時点



## 教育

児童数の割に学校の数が少ない上、既存の校舎の老朽化が激しいため、大勢の生徒が土の床に座って学んでいる学校もあります。小学校の入学率は約95%まで向上していますが、1人あたり月約8～15米ドルの授業料が払えず、学校に通えなかったり中退を余儀なくされ、鉱山で働いたり若くして結婚する子どもたちも少なくありません。

### ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 教育の重要性に関する保護者を対象とした啓発活動
- 教室の修繕・増設や机・イスなど備品の整備
- 教員の指導力向上のための研修



子どもたちが継続的に質の高い教育を受けられるよう支援します



## 保健衛生

衛生環境が悪く、安全な水を手に入れることも難しいため、マラリア、下痢、コレラ、腸チフスなどの感染症が蔓延しています。5歳以下の子どもや妊産婦の死亡率も高く、対策が必要です。

### ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 子どもたちへの予防接種やビタミン補助剤、蚊帳の提供
- 妊産婦や母親への保健衛生、栄養ある食事に関するトレーニング
- トイレの利用やゴミ捨て場の設置など衛生環境改善に関する啓発活動



地域の子どもたちや人々が健康に過ごせる環境を目指します



## 農業・生計向上

鉱山会社の倒産後、生計を立てるために農業を始める住民も多くなります。しかし、農業の知識・技術もなく、資機材なども不足しているため、十分な食糧を確保することが困難です。

### ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 農業技術に関するトレーニング
- 貯蓄グループの組織化
- 養蜂など現金収入につながる生計手段の導入支援



収穫量や収入を増やしていくための支援を行います



### 支援はチャイルドの生活を変える力となります

カスムヤちゃんは父親を亡くし、母親とともに暮らしています。以前は貧しく学校へ通うことができませんでした。しかし、ワールド・ビジョンから作物の種や肥料の支援を受け、農作業に励んだ結果、収穫量が増えました。収穫した作物を売ることによって学費が払えるようになり、カスムヤちゃんは学校に通えるようになりました。ワールド・ビジョンによる種や肥料などの直接的な支援は終了しましたが、カスムヤちゃんの母親は農業を続け、カスムヤちゃんは学校で勉強を続けることができています。

ワールド・ビジョンは、カスムヤちゃんのような子どもたちが教育を受け、希望を持って成長していくのを助けるために、支援活動を行っています。